

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月13日

事業所名 放課後なかよしサークル

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	16		スペースを有効に使えるように不用品は倉庫に入れている。個別の対応が必要な時には真ん中フロアを区切って使用している。		
	2 職員の配置数は適切である	15	1	配置基準プラス2名以上の配置を当施設の配置基準としている。		
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	14	2	玄関入口にスロープの設置・フロア床にマットを敷く。	施設の中には段差もありすべての解消は難しいが、介助で対応できるものは対応している。今後さらに配慮などが必要になる場合には、可能な限りの対応をしていく。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	16		毎日の申し送り時に前日を振り返り、当日に生かしている。週に1回は60分以上の全体MTGを行っている。		
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	16		保護者様等のご意見については全職員にMTG等で周知できるようにしている。	評価表などを活用して課題点の改善・保護者様の意向は全体MTGの議題とし、迅速に検討し改善内容や結果を出来る限り保護者様には報告している。(個人情報有する内容の開示が出来ないので内容を全て報告できない場合があります)	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	15	1	ホームページにて公開している。		
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	12	現在、外部評価は行っていない。	現在第三者による評価は行っていないが、市内の他事業所等と情報交換や相談をしながら適正に事業運営出来るように心がけている。必要な場合は市役所の担当者への相談を行っている。今後事業運営に必要な場合は有償で行う第三者評価を行うことも検討しています。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	16		社内での必須研修を行い、オンライン研修や外部研修にも参加を促している		
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	16		定期的なレポートとして目標ごとに様式を作成している。		
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	15	1	定期的なレポートとして目標ごとに様式を作成している。		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	14	1	週1回の全体MTGで検討をして全員で立案している。		
適切な支援の提供	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	16		季節行事や気候に合わせた活動を心掛けている。	季節行事などについては、内容が固定化されやすいので、様々な情報を収集し変化ある活動内容をスタッフ全員で提案していく。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	12	3	個別支援計画の見直しの為のレポートを行っている。	放課後支援では、申し送りの時間を確保できるが、休日には難しい。長期休暇の目標、課題設定は休暇が始まる前に設定、周知し共通理解をもって支援を行っていく。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	16		個別支援計画の見直しの為のレポートを行っている。		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	15	1	支援開始前に30分程度の申し送りを当日スタッフにて確認している。	放課後支援では出来ているが、休日支援では難しい。行動表や担当表への記載をし、メールなどを活用して確認していく。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	12	4	終了時には行えないが、翌日の申し送り時に振り返りを行っている。	送迎がある為、終了時に全員が集まって振り返りを行うことは困難だが、翌日の支援開始前に振り返りを行っている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	16		施設全体の記録、個別の記録を毎日作成しています。	個別の記録はコピーをして保護者様にお渡ししています。今後も継続して行っていきます。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	16		担当職員による個別支援計画に沿った支援の報告をレポートとして行っている。		
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	16		基本活動を組み合わせ支援を行っています。今後も改善をしていき、より良き支援を行えるようにしていく。		
	関	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	15		対象の利用者様の状況に精通した児童発達支援管理責任者が参画している。	
		21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	15		学校によっては保護者任せなところもあるが、保護者との連絡がしっかりと出来ている。HPでの予定確認を行っている	天候やトラブルなどのイレギュラー対応時には連絡が双方漏れてしまうことがあるので、より密に連携をとっていく。
22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		11	3	現在必要な利用者様はいないが、利用契約時に必要な場合は連携させていただきます。	医療的ケア以外にも必要な配慮がある場合には、保護者様より指示を頂いています。	
23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		13	3	必要に応じて連絡し情報共有している。		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月13日

事業所名 放課後なかよしサークル

係機関や保護者との連携	項目	数値	評価	内容	コメント	
係機関や保護者との連携	24	15		学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	必要に応じて参加致します。	
	25	15	1	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	センター発信の研修などに参加するなどしている。	
	26	2	14	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		ニーズが少なく、課題点が多くあるため現在は行っていない。
	27	7	9	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	協議会開催の連絡会や研修などには参加している。くらし部会には別事業の職員が参加している。	
	28	16		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	送迎や活動記録で日々情報交換を行い、共通理解をしている。	
	29	11	4	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	活動時以外でも相談を受け付けています。	「ペアレントトレーニング」としては行っていないが、送迎や面談等で現在悩んでいる事などを聞き、一緒に対応について考えている。
保護者への説明責任等	30	16		運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	利用契約時に必ず行っている。	
	31	15		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	活動時以外でも相談を受け付けています。	送迎時や面談等で悩みや相談があった場合には、様々な立場のスタッフの見解・意見を適切にお伝えしています。また、相談員と協力して必要な助言や支援を行っています。
	32	5	10	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		会の設置はしていないが、保護者参加のイベントを企画し交流の機会を設けている。今年度は夏休み期間にデイ開放日を実施し、保護者同士の交流があった。
	33	16		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	苦情に対しての今後の対応を迅速に検討し、情報周知の許可を得てから、全ての保護者様へ周知するようにしている。	苦情対応窓口を設置しています。苦情があった際には迅速に対応し、職員で検討を行って対応しています。更に満足頂けるよう報告と連絡を適切に行っていく。
	34	14	1	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	ホームページやSNS等で発信している。	ホームページやSNSを活用して活動の様子などを発信しています。行事については事前にお手紙を配布してご案内しています。
	35	16		個人情報に十分注意している	十分に注意をしているが、流出などが無いように更に注意していく。	定期社内研修で周知していきながら、注意していく。
	36	16		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	ツールや時間、環境など様々な面で可能な限りの配慮を行っています。	
非常時等の対応	37	4	12	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	安全確保の為行っていません。	招待することでの課題点が多くあり実施していない。
	38	15	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	閲覧ファイルにていつでも確認が出来る様に整備しています。マニュアルの更新がある都度、周知を行っている。	
	39	16		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	消防署からの協力を仰ぎ、煙体験や可能な訓練方法を聞き実施している。	今年度も2回の避難訓練を行いました。地震、火災、水害想定での避難訓練と消火訓練、通報訓練を行っています。
	40	16		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	社内に虐待等防止委員会を設置し、責任者が参加している。事例検討や研修について職員に周知をしている。	
	41	16		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		現在身体拘束を必要とする利用者はいないが、今後必要な場合には、職員間で検討し保護者への説明と計画書への記載を行う。会社の虐待等防止委員会にて身体拘束についても検討している。
	42	16		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		現在アレルギーの利用者がいない。必要になった場合には保護者へ確認し、医師の指示書の確認を行う。制限については家族と連携し、可能な範囲で行っている。
43	14	2	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	申し送りで共有し、その場で改善案を提案し即時改善している。	業務の終了時に気が付いたことがあれば、ヒヤリハットを記入して、共有していく。	